

南紀高等学校

実施日時	下記詳細参照
参加者	下記詳細参照 総計 生徒259名 教職員 複数名
実施内容	下記詳細参照

実施日時/参加者/実施内容 詳細

7月20日(金)

昼間定時制 DVD鑑賞「津波に備える」
講義「津波のしくみ」/理科教員
生徒63名

9月 3日(月)

昼間定時制 避難訓練と防災学習、緊急地震速報
の非常ベルで体育館へ避難、講話(地
震・火災)/校長、生徒指導部長
生徒66名

夜間定時制 DVD鑑賞「水害」、講義「水害への
対応」/生徒指導部長 生徒17名

11月 6日(火)

昼間定時制 シェイクアウト訓練、避難カード作
成、講義「稲むらの火」、講義「津波
防災の日」/担任 生徒57名

11月 8日(木)

夜間定時制 シェイクアウト訓練、避難カード作
成、講義「津波防災の日」/担任
生徒16名

11月18日(日)

通信制(新宮学級) シェイクアウト訓練、避難カード作
成、講義「津波防災の日」/担任
生徒17名

12月20日(木)

夜間定時制 アルファ米試食及び避難所食事体験
講話/南紀若者サポートステーショ
ン 生徒12名

1月 8日(火)

夜間定時制 DVD鑑賞「世界津波の日」2018
高校生サミット in 和歌山
講義「高校生サミットの活動」
生徒11名

事前の取組

(1) 実施形態

定時制昼間部、定時制夜間部、通信制田辺
学級、通信制新宮学級の課程別にそれぞれ生
徒の実態に即した実施形態とするために、前
年度から特定の日には絞らず、複数回に分散し
て実施し、担任や関連教科の教員が担当
を分担する形式で準備を進めた。

(2) 使用教材

気象庁津波防災啓発DVD「津波に備える」
を視聴

津波・防災の日(訓練・ポンチ)をもとに
担任用資料を作成

洪水災害(約15分)DVDの自主教材を
作成

テレビ番組を編集した「世界津波の日」2
018高校生サミット in 和歌山」を視聴

主なプログラム

火災、水害を始め、身近な災害、自然災害と人災の観点、二次災害などについて、認識を深めること、また、国際情勢とともに近隣諸国など広範囲の災害についても新たな視点で捉える機会とする。

参加者感想文

- ・津波の発生や被害についてよくわかった。
- ・大雨の時、車やバイクの運転に注意したい。
- ・暑すぎるのも自然災害だと思う。
- ・アルファ米を初めて食べた。おいしかった。

成果と課題

【成果】

- ・地震や津波への対応についてしっかりと考えることができた。
- ・夜間に発生した水害への対策について再認識し感想を共有することができた。
- ・Jアラートや警告音への関心や認識の定着が進んでいると感じることができた。
- ・行事（球技大会）の機会を活用し、地域の方（南紀若者サポートステーション）と協働した防災学習として、アルファ米の試食など避難所生活を想定した体験を通して、生徒の理解を深め、啓発を行うことができた。
- ・DVD視聴は15分～20分程度が集中するには適当との判断で、試作したものを活用できた。

【課題】

- ・定時制昼間部、定時制夜間部、通信制田辺学級、通信制新宮学級で防災学習を一斉に実施する機会として、学校祭での学習発表などとも組み合わせながら、生徒の実態に応じた防災学習を計画的、段階的に進めていく必要がある。
- ・避難所としての物品を確認したり、避難マップの作成など、より具体的で実践的な学習形態への移行による学習内容の充実が望まれる。
- ・定時制夜間部での生活時間に応じた夜間の時間帯に発生した防災についても、学習内容を研究する必要がある。
- ・18歳選挙権とも関連させ、社会制度や補償問

題について学習を深められるような取組も考えていく必要がある。

- ・地震体験車「ごりょう君」での体験も計画していたが日程調整等の都合で次年度以降の実施となったため、年度当初での計画と予約に留意したい。



「津波の備える」
視聴・講義

校長講話



生徒指導部長
講話



体育館へ避難



アルファ米試食①



アルファ米試食②

